

レミケード療法

【内科】100【潰瘍性大腸炎】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 週ごとを1コースとする

Day	1	~
施行日	/	
レミケード	↓	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順			
①	<table border="1"> <tr> <td>ポララミン注 5mg 生食 100mL</td> <td>30分</td> </tr> </table>	ポララミン注 5mg 生食 100mL	30分
ポララミン注 5mg 生食 100mL	30分		
②	<table border="1"> <tr> <td>●レミケード【 】mg 生食 500mL</td> <td>投与速度は「■注意事項」参照</td> </tr> </table>	●レミケード【 】mg 生食 500mL	投与速度は「■注意事項」参照
●レミケード【 】mg 生食 500mL	投与速度は「■注意事項」参照		
③	<table border="1"> <tr> <td>生食 50mL</td> <td>10分フラッシュ</td> </tr> </table>	生食 50mL	10分フラッシュ
生食 50mL	10分フラッシュ		

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
レミケード	5mg/kg

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- 初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の間隔で投与。
- Infusion Reactionの発現に注意すること(発熱・血圧低下・アナフィラキシー様症状など)
- 投与開始の30分間は緩徐に投与し、アナフィラキシー様症状がないことを確認後、点滴速度を速める。
 <レミケードの投与速度>
 30mL/hrで開始 ⇒ 30分後 300mL/hrへ (約2時間で投与)
- 6週の投与以後、それまでの投与でinfusion reactionが認められなければ、点滴速度を上げて点滴時間を短縮することができる。(※最短でも1時間以上かけて投与すること)

入力 薬剤師	看護師	看護師